



Volunteer network

主任神父様・信徒会長様・教区ボランティア・ネットワークの皆様



すきま

隙間を埋める・・・希望と喜びの多国籍パワー

World Friendship Network

3.11では、「日本人が助け合い、ゆずり合う姿を見て感動した」と、フィリピン出身のJさんは語ります。明るさの秘密は、神様への信頼。愛するお父さん（夫）と出会い、日本での生活も20年以上。Jさんの明るさのもう一つの秘密は、ひっそり支え続ける「お父さん」のようです。

今、何か、私たちにできること

3月11日の地震と津波のニュースを見て、神様、助けてと、涙を流しながら、何か私たちにできること、を考えました。ボランティアは、今、大学3年の娘がよちよち歩きのところから、ずっと。いろんなことをやってきたけれど、今度は・・・、今まで以上に、急いで、何かやらなくちゃ、と思ったんです。

3月26日にライブハウスでチャリティ

ライブハウスを無料で貸してくれた人、ポスターやチケットを作ってくれた人、宣伝してくれた人、出演者もちろん、全員、ボランティアでした。

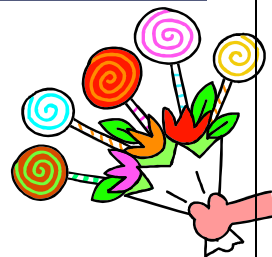
コンサートは、佐藤神父様（加茂教会）のお祈りではじめました。神父様は宮城県の被災地にいらしていたので、神父様のお祈りを、お父さん（夫）が代理で。新聞にも出たので25万円以上集まりました。

災害支援は、これまでも何回も

災害の支援は、中越地震、スマトラの津波、フィリピンの土砂災害などをやってきたし、コンサートは、去年の11月に、フィリピンの学校の支援のためにチャリティをしたばかりだったので、今回も、すぐに決まりました。

去年は、フィリピン、ボホール島の、私たち9人兄弟が卒業した小学校に、パソコンとウォーターディスペンサー（給水機）を送ったんです。ボホール島は、メガネザルとチョコレート・ヒルで有名な美しい島。実家はロザリオの地区にあり、5月と10月に大きなお祭りがあって、楽しい思い出がいっぱいの島です。

（裏面に続く）



アフガニスタンにランドセルを贈ろう！ プロジェクト

お願い品	書き損じはがき（往復はがきの返信部分も可です）
送り先	〒950-2002 新潟市西区青山 8-5-17 カトリック青山教会 「ランドセル」係
収集期限	2011年9月30日

新潟教区ボランティア・ネットワーク 教区本部 事務局長 大瀧浩一 窓口 佐久間香子 (080-2029-7682)

(ボランティア・ネットワーク登録数 87人 + 12グループ)

避難所の訪問、Tシャツの販売

フェルディー神父様たちと、長岡の避難所に行きました。原発の地域から避難してきた人が、私たちを見て泣きだして、複雑な思いがあるのだと知りました。フィリピンの友人たちが、東京の米軍基地から缶詰や、水のペットボトル、紙おむつを買ってきてくれたり、いろんな人の協力がありました。

あとは、白いTシャツに、HOPEとプリントして、イベントなどで、1500円で売りました。Oの字を、日の丸のデザインにしました。アイデアを出す人、形にする人、ボランティアをしていると、いろんな「つながり」が生まれます。英会話教室も、「つながり」がきっかけで、はじまったんですよ。

5月のゴールデンウィークには、仙台へ

20代のフィリピンのALTたち(英語の先生)。若いんだから行っといでと、送りだしました。現地でボランティア登録をして、がれきの片づけを手伝ったそうです。若い人たち、元気が良くて、頼もしいです。

7月3日に第2弾チャリティコンサート

2回目のチャリティは7月3日。子どもが中心のコンサート。よさこいのグループと英会話教室の子どものコラボレーション。子どもだって、何かできる、と考えたんです。フランドスの先生から連絡があり、5歳～70歳の約30人が出演してくれて、その上、チケットを買ってくれて、また、新しいつながりがはじまりました。子どもが出演するので、学校の先生たちも、トランペットやギターで出演してくれました。

場所は三条のケアプランセンター。100人くらい集まって、とっても楽しい集まりになりました。これも新聞に載ったので、10万円以上の募金が集まりました。

上手とか下手とかよりも、もっと大切なものがあります。人のために働くことを、子どもたちに伝えたい。私の家は、中学3年まで電気がなかったんですよ。日本は経済的に豊かな国だけれど、本当に大切なものは、お金では手に入りません。

お父さん(夫)もボランティアに

お父さんは、私がボランティアをするのを、ずっと手伝ってくれていたんです。考えてくれて、動いてくれて、一番、大事なスタッフ。

洗礼は受けていないけれど、加茂教会のことも大工さんみたいなことなど、手伝ってくれています。結婚したときから、私が教会に行くことも認めてくれています。私が教会に行くと元気になることを知っているんです。フィリピンの人たちが困っている時も、助けてくれます。日本の男性ですからね、言葉にはださないですけど、心が、とっても優しいんです。

去年のクリスマスに、お父さんも老人ホームで歌をうたって、お年寄りが涙を流しているのをみて、考えが変わったみたい。人に感動を与えられるのはすごい、と。それから、毎月、老人ホームの慰問に出演してくれるようになった。この世に生きていて、だれか喜んでくれる人がいる。自分にとってもプラス。お父さんと一緒にボランティアができて幸せです。

J談(新潟県・加茂教会)

★ 東日本大震災救援 ★ チャリティ・ショー ★ 第2弾 Presented by ★ World Friendship Network

Opening あいさつ
WFN代表 阿部ジュリア

Show

1. 歌と踊り... ジュリア英会話教室
2. フラダンス... ラウレアガールズ
3. ギターと歌... 植原 健

9. よさこい「ハビネス」.....
10. リズムダンス「国見みれん」...
千寿花

11. KARA「ミスター」.....
ジュリア & フレンズ

12. トランペット「負けないで」...
+カキ